

会派代表質問

災害時、市民の命と財産を守るのは、市政最大なる責務ではないのか！

新政ネット

石渡 登志男 議員



昨年12月の定例会において、私は職員の間でメンタルケアについて質問した。その時に「そちら側から言いたい放題というような感じとも受け取られるような事が、言葉としてたくさんございまして」という市長からの発言があったが、私からしてみればそんなことはない。でも、私があの場でそれこそ本当に言いたい放題を言ってしまったら、この議場内においては、もしかしたら衝撃が走ったかもしれない。あるいは凍りついたかもしれない。本音で私は語ったが、本当は言いたいことを言えなかったというのが本当のところ。いろいろなる事を考慮しながら、限界ギリギリの発言をしたつもりである。これからは常に謙虚で、冷静沈着、ちよつとやそつとの物事では動じないという心掛けを心がけていきたい。市長も最後に「いろいろと提言いただいたことをしっかりと受け止めて実行してまいりますので、ぜひ石渡議員にもその辺を見ながら、応援、後押しをしていただければというふうに考えております」というような発言もあった。私自身もこの問題においては、市同様にならうという思いを強く持ち注視していきたいと思っている。とにかく、市民のために日々頑張っている職員の皆様方が安心してきちんと働ける環境づくりを今後ともどうぞ宜しくお願いしたい。

昨年12月の定例会において、私は職員の間でメンタルケアについて質問した。その時に「そちら側から言いたい放題というような感じとも受け取られるような事が、言葉としてたくさんございまして」という市長からの発言があったが、私からしてみればそんなことはない。でも、私があの場でそれこそ本当に言いたい放題を言ってしまったら、この議場内においては、もしかしたら衝撃が走ったかもしれない。あるいは凍りついたかもしれない。本音で私は語ったが、本当は言いたいことを言えなかったというのが本当のところ。いろいろなる事を考慮しながら、限界ギリギリの発言をしたつもりである。これからは常に謙虚で、冷静沈着、ちよつとやそつとの物事では動じないという心掛けを心がけていきたい。市長も最後に「いろいろと提言いただいたことをしっかりと受け止めて実行してまいりますので、ぜひ石渡議員にもその辺を見ながら、応援、後押しをしていただければというふうに考えております」というような発言もあった。私自身もこの問題においては、市同様にならうという思いを強く持ち注視していきたいと思っている。とにかく、市民のために日々頑張っている職員の皆様方が安心してきちんと働ける環境づくりを今後ともどうぞ宜しくお願いしたい。

ろん、消防団の存在も大きい。この2つの組織連携が大きな力を発揮していくはずだ。2014年、11月22日22時8分長野県北部地震が発生したが、このとき白馬村では震度5強の激しい揺れに襲われた。全壊が42棟、大規模倒壊が12棟、半壊が20棟、負傷者も出たが、死者はゼロだった。どうしてか。発生後すぐに安否確認や救助活動が迅速にできた結果で、日頃の地域共助の力が最大限発揮されたからだ。地域の人々がバラバラでは助かる命も助からない。形だけの自主防災組織ではなく、災害時に本当に役立つ地域防災組織そのものが大事ではないか。各地域の皆様方に少しでも考えていただければと思っている。それがこの質問の最大の狙いでもある。本市の自主防災組織率はまだまだ低い状況ではあるが、市の第6次総合計画の前期基本計画では令和7年度の目標値として自主防災組織を46組織という記載がある。よって、目標値に達成するよう、より一層の努力を市にお願いしたい。

関連質問 堀本孝雄議員



問 市民憲章にある「田園文化都市」というフレーズについて、我がまちは立派な海があるのになぜ海浜というイメージアップに繋がる表現を使わないのか、また今後我がまちは、より積極的に移住定住策を講じなければならぬが、そのために

も、田園海浜都市、田園海浜文化都市という表現が良いと思うがどうか。答 現在の市民憲章は大綱白里町の誕生25周年を記念して昭和54年10月5日に制定の後、平成25年の市制施行時に市民憲章に名称を改められた。憲章の制定に当たっては、日常生活や日常生活の行動規範となる町民像について広く町民の方から案を募集し、専門家のご意見をお聞きして、町民憲章制定委員会で決定された。これらの経緯や制定に関わられた方々の思いを勘案しますと、慎重に検討すべきと考えています。

平成30年度に策定した公立幼稚園、公立保育所の在り方を基本的な方針とし、第2期子ども・子育て支援事業計画において、公立幼稚園・公立保育所の再編に関する検討を位置づけている。白里地区においては、白里保育所が将来定員割れすることが見込まれるため、白里幼稚園と統合し、認定こども園として運営していくことを前提に検討を進めることとされています。増穂地区においては、増穂幼稚園と増穂保育所の利用者数等の状況によっては統合し、認定こども園化の可能性を検討することとされている。いずれにしても保育所及び幼稚園の利用者数の動向を見ながら、認定こども園への移行について引き続き検討されたい。

特に白里地区では過疎化、高齢化が急速に進んでいます。この現象を少しでも止めるにも、若者が移住し、定住し易い子育て環境、教育環境を整えてやるのが我々の責務であり、その一つが認定こども園の設立であると思うので強く要望します。

問 駅南口の線路脇の市道について、一方通行にする等の対策を講じる必要があると思うがどうか。

答 現状では一方通行の実施は極めて難しい。駅南側の朝夕の混雑解消については、今後の駅南地区のまちづくりの中で検討していきたい。

個人質問

市民の声を届け誰もが楽しく暮らせる豊かなまちづくりの実践！

林 正清子 議員



問 災害時には、迅速な情報を収集することが有効な対応策に結び付きます。どのような方法で市内の状況を収集されていきますか。

答 災害時の情報収集は、市民からの通報、消防団・消防署などの関係機関や市職員による市内パトロールにより、被害状況などの情報を把握しています。今後は、各自主防災組織からの収集体制やSNSを活用した写真付きの通報連絡を構築していきます。また、収集した情報をもとに必要な措置等を講じ、必要な情報を防災行政無線やホームページなど多様な手段を活用して市民に提供していきます。

問 現在わが市の自主防災組織は、住民の何パーセントがカバーされていますか。また、更なる充実の為に具体策をお聞かせください。

答 令和2年4月1日時点で36組織が結成され、全世帯数の56.8%をカバーしています。広報紙や出前講座の開催などにより、自主防災組織の結成を促進し、防災リーダーの育成等、継続的な支援を行い地域防災力充実に努めていきます。

問 自助共助による備蓄物資を補充する役目の備蓄倉庫には何が備蓄されていますか。それを住民へどのように周知されていますか。また、災害時に倉庫はどの様に開放されるのか伺います。

答 備蓄倉庫には、食料、飲料水、毛布などの生活必需品や仮設トイレ、ロールマット、発電機などの避難所運営に必要な資機材のほか、感染症対策用品としてマスク、消毒液、非接触型体温計などを保管しています。備蓄倉庫の周知には出前講座などで説明しています。災害時に於ける備

蓄物資の活用は、避難場所配備職員が、災害の状況や避難者の状況に応じて各備蓄倉庫から必要な物資を搬出し、配布対応等をする運用としていきます。

問 コロナ禍でテレワークが普及している中で、全国の自治体の多くが移住促進にむけて、様々な策を展開しています。テレワークが普及した今こそ千載一遇のチャンスです。テレワーク都市として名乗りを挙げ、市長直轄の専門チームに依る「移住促進プロジェクト」を立ち上げることはできないでしょうか。移住を検討している方が、この専門チームがあるならと思ってもらえる本気度を大綱白里市のテレワーク都市としての看板にして頂きたいと思えます。また、本市には、「特急が停まる好立地」という大きな看板があります。この二枚看板で、全国の自治体を相手にテレワーク都市を目指して頂きたいと思えます。如何でしょうか。

答 「第二期 まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、移住促進イベントやセミナーへの積極的な参加や、市ホームページ等を利用した情報発信などにより、引き続き、企画政策課が中心となって庁内関係課と連携し、移住施策を進めてまいりたいと考えています。

テレワークへの移住促進は、本市の弱点である職業斡旋を伴わない施策で臨める絶好な好機です。なんとかこのチャンスをつかみ取って頂きたいと切望いたします。

※他に、◆空き家バンクの実績について◆空き家バンクの成約物件の詳細情報の記載について◆空き家のリフォームや残置物の処理の費用などの補助金について質問しました。